

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年2月20日（月）～2月26日（日）〔平成24年第8週〕の感染症発生状況

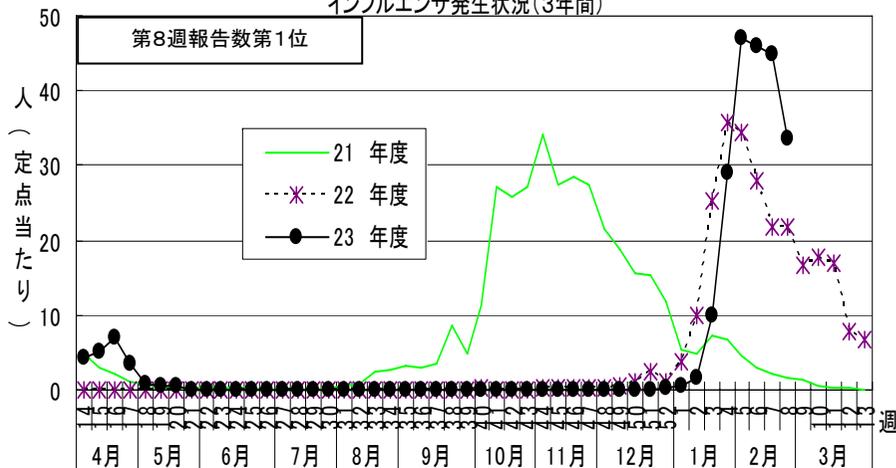
第8週で患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)水痘でした。

インフルエンザは定点当たり33.70人と前週(44.80)より患者報告数は大きく減少しましたが、依然として流行発生警報基準値(定点当たり30人)を超えた状態で推移しています。特に宮前区及び多摩区で患者報告数が多く、区別で定点当たり50人を超えています。

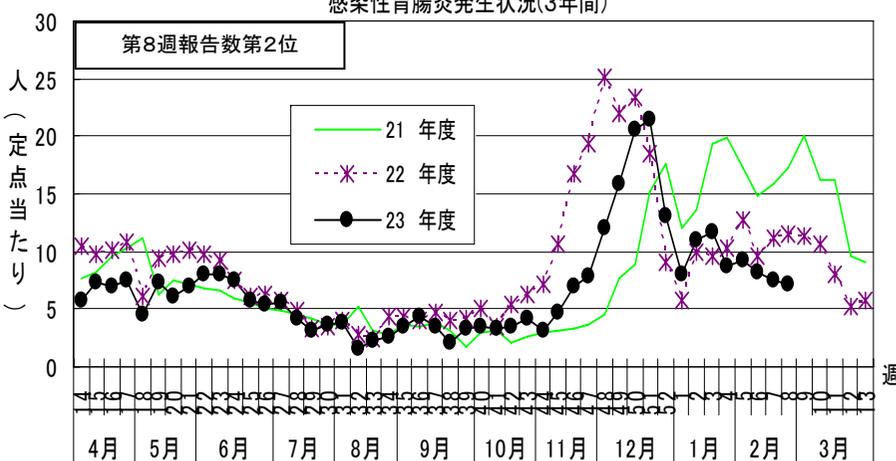
感染性胃腸炎は定点当たり7.19人と前週(7.42)より患者報告数はやや減少しており、例年と比較して低いレベルでの推移が続いています。

水痘は定点当たり2.13人と前週(1.42)より患者報告数は増加し、特に多摩区で患者報告数が多くなっています。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

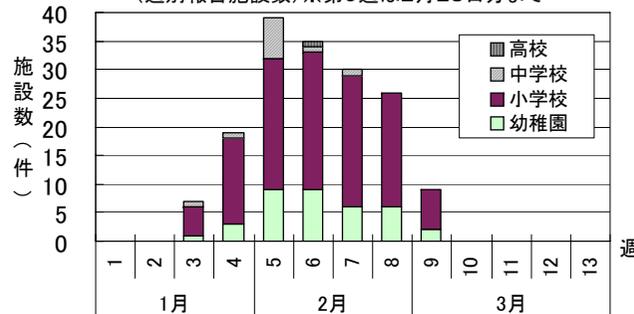


## インフルエンザの流行に終息の兆しか！？

ようやく、インフルエンザの報告数に減少傾向がみられてきましたが、まだまだ油断できない状況にあります。特に、学校等の集団施設については注意が必要です(右グラフ参照)。

については、次の「インフルエンザの予防法基本の6か条」を徹底して、感染の予防及びまん延の防止に努めましょう。

川崎市内の学校等の臨時休業実施状況  
(週別報告施設数)※第9週は2月28日分まで



①うがいと手洗い

インフルエンザの予防法 基本の6か条

④十分な睡眠

②外出時のマスク

③人ごみを避ける



⑤十分な加湿

⑥バランスのとれた食事

